

函館の教育が目指す人間像（原案）

国の第2期教育振興基本計画においては、「自立」「協働」「創造」の3つを基軸とした生涯学習社会の構築を旗印としており、この3つの基軸は、国の次期教育振興基本計画においても理念として引き継がれる方向性で検討されています。また、北海道教育推進計画においても、「自立」「共生」の2つを基本理念としているところです。本市においては、国や北海道の計画を踏まえ、「自立」「共生」「創造」を基軸とした生涯学習社会の構築を目指すとします。

これからの社会は、技術革新の一層の進展に伴う社会・産業構造の変化などが進むにつれ、知識・情報・技術をめぐる変化もますます早くなるものと予想されています。こうした変化する社会に対応するためには、自主的な学びのスタイルを構築し、知識を深めるために生涯を通じて学び続け、個性や能力を伸ばすことが大切です。また、変化する社会の中で生じる様々な課題に対しては、課題の本質を捉え、解決に向けた行動につなげることも大切です。本市の教育は、こうした自立した人を育成する必要があると考えます。

また、本市においては、地域経済の活性化と安定した雇用の確保や、北海道新幹線開業後のまちづくりの取り組み、少子・超高齢社会への対応、さらには、持続可能なまちの形成など優先的に取り組むべき課題があり、それらの解決に向けては、市民・企業・団体・行政等の協働によるまちづくりを推進する必要があります。協働にあたっては、他者を受け入れて尊重し、協力し合う心をもつことが大切です。そして、多様な人々と絆を深め、ネットワークを構築することも大切です。本市の教育は、こうした共生する人を育成する必要があると考えます。

そして、本市は、若年層を中心とする転出超過などを要因として人口減少が進んでおり、今後も労働力の中核をなす生産年齢人口の減少が避けられない状況にあります。こうしたことから、「函館を愛し、函館で活躍する」、または、「函館を離れても、全国・世界を舞台に活躍し、将来的に函館のために活躍する」ために、郷土に対する誇りや愛を強くもつことが大切です。また、世界に目を向けるような広い視野をもちながら、自他の人生を豊かにする新たな価値を創り出し、まちの魅力を高めることも大切です。本市の教育は、こうした創造する人を育成する必要があると考えます。

以上を踏まえ、本市の教育が目指すべき人間像を以下のとおり掲げます。

函館の教育が目指す人間像

- 自立：自主的に学び 個性・能力を伸ばし 主体的に判断して 変化する社会を生きる人
- 共生：寛容さと思いやりの心をもって 多様な人々と絆を結び 共に支え合う人
- 創造：函館を愛し 世界に目を向け 新たな価値を創り まちの魅力を高める人

「函館の教育が目指す人間像」と計画の「基本的方向性」

函館の教育が目指す人間像

▶ 自立

自主的に学び 個性・能力を伸ばし 主体的に判断して 変化する社会を生きる人

▶ 共生

寛容さと思いやりの心をもって 多様な人々と絆を結び 共に支え合う人

▶ 創造

函館を愛し 世界に目を向け 新たな価値を創り まちの魅力を高める人



計画の基本的方向性



各種施策